



環境科学科3年生（希望者11名）

第13回四国地区SSH生徒研究発表会に参加！

4月5日（土）、香川県高松市の高松第一高等学校にて「令和7年度第13回四国地区SSH生徒研究発表会」が開催されました。四国地区では、10校がSSH指定校に認定されており（以下に記載）、生徒自らが研究テーマを設定して探究活動に取り組み、研究成果としてまとめるプロセスをたどることで、科学的な探究の方法（調査・研究手法）や実験・観察手法の習得を図るとともに、問題解決能力をはじめ情報活用の実践力やプレゼンテーション力などを身に付ける取組を実施しています。生徒相互の科学的なコミュニケーションの場を設け、科学を探究するために必要な資質の向上や課題研究の取組の活性化を促進することを目的として、今回の発表会が開催されました。

★四国地区のSSH指定校★

徳島県	城南高等学校、徳島科学技術高等学校、富岡西高等学校、脇町高等学校
高知県	高知小津高等学校
愛媛県	宇和島東高等学校、松山南高等学校、西条高等学校
香川県	観音寺第一高等学校、高松第一高等学校

本校からは環境科学科3年生の希望者（11名）が参加し、2年次に取り組んだ課題研究のポスター発表を行いました。発表テーマは以下のとおりです。

「アメリカザリガニから生分解性プラスチックを作る」

「光合成細菌におけるビタミンB12の抽出」

「コンピューターは変形菌に勝てるのか!？」

「種々の方法によるシロツメクサにおける四葉の形成の研究」

以下、参加した生徒の感想です。「どれもクオリティが高くて着眼点が面白かったり、研究方法に工夫があったりと聞いていて興味深かった。発表は慣れていたが、他県の方に発表するのは初めてだったのでいい緊張感で発表できたと思う。またアドバイスもいただき、研究の改良点が見つかった。学校内で発表することが多いので他県の人と交流できて新鮮だったし、楽しかった。このような機会がもっとあっていいのかなと思う。」「今までと違い、ジャンルも研究内容も異なる生徒の発表を聞くと面白い考えをしていたり、視点が違っていたり新鮮だった。またやはりポスターと口頭で伝える科学コミュニケーションの難しさを再認識した。」「このような機会がなかったら関わることのなかった四国の高校生たちと関わることでできてよかった。和歌山だけじゃなくて四国の高校生たちの研究内容増されておもしろかった。」「さまざまな分野の研究があり、私ではできない発想や仮説が立てられていて、とても勉強になった。」



ポスター発表のようす



会場の高松第一高等学校